

平成21年4月28日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2008

課題番号：18530259

研究課題名（和文） 戦後東アジア綿業の勃興期に関する広域的研究、1940～50年  
 研究課題名（英文） Study on the Development of the Cotton Industry in East Asia  
 after the World War II , 1940s-1950s

研究代表者 久保 亨 (KUBO TORU)

信州大学・人文学部・教授

研究者番号：10143520

## 研究成果の概要：

本研究を通じ、戦後東アジア各地における綿業の勃興が、決して個々の孤立した地域の動きではなく、広域的かつ相互連関的な動きであったことが明らかになった。戦間期に上海とその周辺地域で活躍していた綿業経営者の一部は、戦後、香港と台湾に新たに綿業が発展する上で決定的な役割を果たした。日本からの繊維機械輸出が持った意味、また各地の当局が持っていた綿業振興という共通の政策志向なども再評価されなければならない。

## 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	800,000	0	800,000
2007年度	700,000	210,000	910,000
2008年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
総計	2,000,000	360,000	2,360,000

研究分野：中国近現代経済史

科研費の分科・細目：経済学・経済史

キーワード：アジア，中国，経済史，第二次世界大戦後，綿紡績業，香港，台湾

## 1. 研究開始当初の背景

世界経済の中で大きな比重を占めつつある東アジア経済の発展過程を追っていくと、その最も重要な基礎の一つに、第二次世界大戦後の繊維産業、とくに綿紡績業の発展があったという事実が浮かびあがってくる。それにもかかわらず当該時期の東アジア綿業をめぐる諸問題は、従来、内外の経済史学界に

おいてほとんど解明されてこなかった。この注目すべき動向を総合的に考察しようというのが本研究に着手する動機になった。

## 2. 研究の目的

戦前までは日本、並びに主に中国の沿海都市部に集中していた機械制綿紡績業が、1940年代後半から1950年代前半にかけ、香港、

台湾、中国の内陸地域に広がり、急速に生産を伸ばすとともに、それぞれの地域における経済発展全体を牽引した。そこで本研究は、香港、台湾、中国内陸地域など東アジアの中でもとくに発展が著しかった地域をとりあげ、それぞれの地域において、どのように資本、技術、労働力、原料などが調達され、どのような経営組織が創設され、どのような市場が確保されたかを、実証的かつ総合的に解明することを目的とした。またその際、とくに戦時期から戦後にかけての政治経済変動が各地における綿業の勃興とどのような関わりを持っていたか、日本の繊維機械産業や上海地域の綿業経営者たちがどのような役割を果たしていたか、などの点を歴史的かつ広域的に考察する点に留意した。香港、台湾、中国の研究者たちと議論すると、こうした点に関する認識が彼らの間できわめて不足していることに気づかされる。と同時に、こうした歴史的かつ広域的な東アジア近現代経済史研究をリードすることこそ、日本の中国経済史研究者に課せられた使命であると考えた。

### 3. 研究の方法

(1) 東アジア各地の図書館、文書館、研究機関の史料調査

上海市档案馆、中央研究院近代史研究所档案馆(台北)、Hong Kong Public Record Office、南京図書館などに保管されている1940~50年代の綿業関係史料を広く収集する。

(2) 上記史料調査結果の整理

調査史料は書籍、コピー、マイクロフィルム、筆写など、状況に応じ様々な形態で入手するとともに、研究に利用しやすいように統一した基準で整理していく。

(3) 関連する研究会、学会への参加

東アジアの綿業史に関わりがある内外の

様々な学会や研究会に積極的に参加し、関心を共有する研究者たちとの間で意見交換を進め、研究の進展に資すようにする。

### 4. 研究成果

最終年度に3年間の研究成果を総括する意味を込め『20世紀中国経済史の探究』をまとめた。同書には研究代表者がこの3年間に学会で発表したか、あるいは活字化した5つの報告を掲載しており、本研究課題の解明を進める上で、きわめて重要な諸問題がとりあげられている。すなわち第1章「戦後東アジア綿業の発展：香港と台湾の場合」では1945年から1955年頃までの東アジア経済に大きな意味を持った国境を越えた綿業の発展過程について、とくに香港と台湾における綿業の勃興に注目しながら論じた。続く第2章「戦時重慶の綿紡績業と国民政府」は、やや時期をさかのぼって、日中戦争期における中国内陸地域の綿業を考察している。経済発展の論理を探る上では、企業制度の検討が欠かせない。中国綿業の発展とも密接に関係するこの問題を第3章「企業管理会社の再検討」で取りあげた。第4章「中国の工業生産指数、1912-49年」は20世紀前半における工業生産指数を改訂する作業の最新バージョンである。綿業がその主軸に位置している。また最後の第5章「戦時経済から戦後経済への転換：その試みと挫折」は、この時期の中国経済全体の動向を鳥瞰した論稿である。

本書は、各章とも日本語に加え中国語、もしくは英語で執筆された文章を付し、国外に研究を発信するための配慮が払われており、関係諸分野の研究者200人以上と国会図書館本館をはじめとする内外の主な図書館、研究機関等に配布し、すでに閲覧に供されている。

なお各章の文章の基礎になったのは、第1

章がワークショップ「グローバル・ヒストリー」の報告書掲載稿(大阪大学、2007年3月)、第2章がワークショップ「戦時重慶」における報告(シンガポール大学、2007年6月26日)、第3章が国際シンポジウム「近代社会環境下の企業発展」における報告(上海社会科学院、2007年7月20日)、第4章が第14回国際経済史学会、セッション103(フィンランド・ヘルシンキ大学、2006年8月23日)における報告、第5章が国際シンポジウム「1940年代的中国」(中国社会科学院近代史研究所、2007年8月19日)における報告である。

今後に残された大きな課題の一つは、1950年代から60年代にかけての中国内陸地域における綿紡績業の急速な発展過程について、それが可能になった要因と問題点を具体的に究明していくことであり、すでにそうした研究を進めるための準備に着手している。

#### 5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 9件)

- ①久保亨「戦時重慶の綿紡績業と国民政府」(『信大史学』第33号、2008年11月、20-39頁) 査読無
- ②久保亨「關於企業管理公司的新思考」(張忠民・陸興龍・李一翔主編『近代中国社会環境与企業發展』上海社会科学院出版社、2008年3月、5-10頁) 査読無
- ③久保亨「国定税則委員会的作用和張福運」(程麟蓀・張之香主編『張福運与近代中国海関』上海社会科学院出版社、2007年8月、14-27頁) 査読無
- ④KUBO, TORU, "The Koa-in, Edited by Stephen R. Mackinnon" (Diana Lary, and Ezra F. Vogel, China at War: Regions of China, 1937-1945, Stanford University Press, 2007, pp.44-64) 査読有

⑤久保亨「1930年代中国的財政与財政官僚」(中国社会科学院近代史研究所民国史研究室・四川師範大学歴史文化学院編『一九三〇年代的中國』(上卷)社会科学文献出版社、2006年9月、279-289頁) 査読無

⑥KUBO, TORU, "The Shandong Economy in Relation to Germany and Japan - 1910s-1930s-" (Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko, No.64, 2006, pp.77-100) 査読無

⑦久保亨「興亜院とその中国調査」(姫田光義編『中国の地域政権と日本の統治』慶應義塾大学出版会、2006年6月、273-307頁) 査読無

⑧久保亨「興亜院与戦時日本の中国調査」(中国語、朱蔭貴・戴鞍鋼編『近代中国：經濟与社会研究』復旦大学出版社、2006年6月、88-123頁) 査読無

⑨久保亨「近現代の中国と世界(第20回国際歴史学会議シドニー大会特集)」『歴史学研究』第815号、2006年6月、43-50頁、査読有

[学会発表](計 9件)

①久保亨「戦後東アジア綿業の展開—中国内陸地域綿業の發展を中心に—」(グローバル・ヒストリー研究国際ワークショップ、2009年3月1-3日、淡路国際会議場)

②久保亨「在華日資紗廠紡織生産設備以及其繼承」(在華日系企業研究ワークショップ、2008年8月2-3日、大阪大学)

③久保亨「從戦時經濟到戦後經濟的轉換；其嘗試与挫折」(「1940年代的中國」国際シンポジウム、2007年8月19日、中国・北京・中国社会科学院近代史研究所主催)

④久保亨「關於企業管理公司的新思考」(「近代社会環境下の企業發展」国際シンポジウム、2007年7月20日、中国・上海・上

海社会科学院主催)

- ⑤ KUBO, TORU, "Business Voices in the Cotton Industry and Beyond: The Struggles of Private Companies in Wartime Chongqing"  
(ワークショップ Wartime Chongqing、  
2007年6月26日、シンガポール大学)
- ⑥ 久保亨「1946年の開放外匯市場与戦後中国金融制度」(近代中国金融制度変遷シンポジウム、2006年8月31日、中国・上海・復旦大学)
- ⑦ KUBO, TORU, "Industrial Development in Republican China, Newly Revised Index: 1912-1948" (第14回国際経済史学会、セッション 103, 23/08/06, フィンランド・ヘルシンキ大学)
- ⑧ 久保亨「国民政府財政与財政次長張寿鏞」(第5回中華民国史シンポジウム、2006年7月29日、中国・浙江省溪口市)
- ⑨ KUBO, TORU, "Nation-state Building Effort by Guomindang and Financial Technocrats, 1928-1937" (Historical Society of Twenty Century China "Chinese Nation, Chinese State, 1850-2000" Session2 Panel B Private Enterprise and Economic Nationalism, 2006年6月26日、シンガポール大学)

[図書] (計 4件)

- ① 久保亨『20世紀中国経済史の探究』信州大学人文学部、2009年3月、1-138頁
- ② 久保亨、土田哲夫、高田幸男、井上久士共著『現代中国の歴史：兩岸三地100年のあゆみ』東京大学出版会、2008年6月、1-288頁(共同執筆であり頁で分担していない)
- ③ 中国企業史研究会共編『中国企業史研究の成果と課題』汲古書院、2007年4月、1-183頁(共同執筆であり頁で分担していない)
- ④ 久保亨編『1949年前後の中国』汲古書院、2006年12月、1-399頁

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

久保 亨 (KUBO TORU)  
信州大学・人文学部・教授  
研究者番号：10143520

### (2) 研究分担者

### (3) 連携研究者